

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 安土桃山時代

名前

得点

/8

**問1** 1588年に出された「諸国の百姓が刀、脇指（わきざし）、弓、やり、鉄砲、そのほかの武具を持つことをかたく禁止する」という法令に関連して、この政策の名称と実施した人物の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 豊臣秀吉による刀狩                      2. 織田信長による楽市・楽座                      3. 徳川家康による武家諸法度                      4. 足利義満による検地

**問2** 豊臣秀吉は全国規模で大規模な土地調査を実施し、それまで地域ごとに異なっていた「ものさし」や「枧（ます）」の基準を統一しました。この調査が日本の土地制度に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 土地の生産力を米の量である「石高」で表すようにし、平安時代から続いてきた複雑な荘園制を完全に終わらせた。                      2. 農民から武器を取り上げることで、一揆を未然に防ぐとともに、武士と農民の身分を明確に区分した。                      3. 特定の商人に与えられていた特権を廃止し、市場の税を免除することで、城下町の商業活動を活性化させた。                      4. 天皇や公家の行動を厳しく制限するための法を整備し、幕府による全国支配の基盤を固めた。

**問3** 日本の文化史における次の4つの出来事（雪舟が水墨画を大成した、豊臣秀吉の朝鮮出兵を機に有田焼などの陶磁器作りが始まった、菱川師宣が浮世絵の基礎を確立した、十返舎一九が『東海道中膝栗毛』を著した）を、年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 雪舟の水墨画 → 有田焼の始まり → 菱川師宣の浮世絵 → 十返舎一九の著作                      2. 有田焼の始まり → 雪舟の水墨画 → 菱川師宣の浮世絵 → 十返舎一九の著作                      3. 雪舟の水墨画 → 菱川師宣の浮世絵 → 有田焼の始まり → 十返舎一九の著作                      4. 菱川師宣の浮世絵 → 雪舟の水墨画 → 有田焼の始まり → 十返舎一九の著作

**問4** 安土城を拠点に天下統一を推し進めた人物は、経済を活性化させるために、商人の座による独占権を廃止し、市場での税を免除するなどの政策を行いました。この政策を何と呼びますか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 楽市・楽座                      2. 太閤検地                      3. 刀狩                      4. 公地公民

**問5** 1587年に豊臣秀吉が出した「バテレン追放令」と、当時の対外政策の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. 宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。                      2. キリスト教の布教を全面的に禁止し、同時にヨーロッパ諸国との貿易も一切停止させた。                      3. キリスト教の信仰を武士にのみ認める一方で、農民には仏教を強制し貿易を奨励した。                      4. オランダを除くすべての外国船の来航を禁止し、貿易の窓口を長崎の出島に限定した。

**問6** 五層七階の壮大な天守閣を備えた安土城を築き、軍事・政治の両面で拠点とした戦国大名が、室町幕府を滅ぼした後に目指した目標として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 天下統一                      2. 鎖国の完成                      3. 武家諸法度の制定                      4. 公武合体の推進

**問7** 桃山文化では、城郭などの豪華な芸術が発展した一方で、千利休によって精神性を重視する「わび茶」が完成されました。この千利休が大成した「茶の湯（わび茶）」のあり方について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 簡素で落ち着いた趣の中に、精神的な深みを見出そうとした。                      2. 高価な中国製の茶器を数多く並べ、自らの富を誇示することを目的とした。                      3. 派手な装飾を施した広い黄金の茶室で、大人数の宴会を催すことを重視した。                      4. 貸本屋などを通じて、一般の町人たちが娯楽として楽しむことを目的とした。

**問8** 16世紀から18世紀にかけて行われた、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカを結ぶ「大西洋貿易」に関連する記述として最も適切なものはどれですか。アフリカのセネガルにあるゴレ島が、人権侵害の歴史を象徴する場所として知られている背景をふまえて答えなさい。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. アフリカから南北アメリカへ多くの人々が強制連行され、広大な農場（プランテーション）で過酷な労働を強いられる仕組みが作られた。                      2. アフリカの労働者が自らの意志で南北アメリカへ渡り、高賃金の対価として大規模な綿花栽培の技術を伝えた。                      3. 南北アメリカの先住民がアフリカへ送られ、現地の有力な農場主のもとで輸出用の作物を生産する労働力となった。                      4. ヨーロッパの資本家がアフリカへ移住し、現地の農民と協力して対等な立場での自由貿易を確立した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>豊臣秀吉による刀狩</b>	豊臣秀吉は、全国の百姓から武器を没収する「刀狩（刀狩令）」を行いました。この法令は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐとともに、農業に専念させることを目的としていました。これにより、武士と百姓の身分を明確に区別する「兵農分離」が進むこととなりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>土地の生産力を米の量である「石高」で表すようにし、平安時代から続いていた複雑な荘園制を完全に終わらせた。</b>	豊臣秀吉が行った太閤検地は、全国の土地の生産力を「石高」という統一した基準で算出する制度です。これにより、一つの土地に対して複数の権利者が入り混じっていた複雑な荘園制が解消され、「一地一作人（一つの土地に一人の耕作者）」の原則に基づき、実際に耕作する農民が年貢を納める仕組みが確立されました。他の選択肢は、刀狩、楽市・楽座、禁中並公家諸法度に関する説明です。
問3	<b>答え 1</b> <b>雪舟の水墨画 → 有田焼の始まり → 菱川師宣の浮世絵 → 十返舎一九の著作</b>	まず、雪舟の水墨画は室町時代（東山文化）の15世紀後半です。次に、朝鮮出兵に伴う有田焼の始まりは安土桃山時代の末期にあたる16世紀末から17世紀初頭です。続いて、菱川師宣の浮世絵は江戸時代前期（元禄文化）の17世紀後半に活躍しました。最後に、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』は江戸時代後期（化政文化）である19世紀初めに刊行されました。
問4	<b>答え 1</b> <b>楽市・楽座</b>	織田信長が行った楽市・楽座は、寺社や公家に保護されていた「座」の特権を排除し、誰もが自由に商売を行えるようにした政策です。これにより城下町に多くの商人を集め、流通を活発にすることで、自身の経済力を強化する狙いがありました。
問5	<b>答え 1</b> <b>宣教師の国外追放を命じたが、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易は利益を重視して継続させた。</b>	豊臣秀吉は、キリスト教が自身の統治の妨げになると判断して宣教師の追放を命じましたが、南蛮貿易による経済的利益や物資の調達は重視していたため、貿易そのものは禁止せず継続させました。江戸時代初期の徳川家光による「鎖国」の完成（貿易の停止や制限）と混同しないように注意が必要です。
問6	<b>答え 1</b> <b>天下統一</b>	織田信長は、足利義昭を追放して室町幕府を実質的に滅亡させた後、天下統一を目指して勢力を拡大しました。その象徴として築かれた安土城は、高い天守を持つ新しい形式の城であり、権威を示す政治的な役割も担っていました。
問7	<b>答え 1</b> <b>簡素で落ち着いた趣の中に、精神的な深みを見出そうとした。</b>	千利休は大成させた「わび茶」は、豪華さを競うのではなく、簡素で静かな「わび」の境地を重んじるものでした。これは当時の武士たちの間で、厳しい戦乱の中で精神的な安らぎや修養を求める動きと結びつき、広く受け入れられました。富の誇示や派手な装飾を求める姿勢とは対照的な価値観を持っています。
問8	<b>答え 1</b> <b>アフリカから南北アメリカへ多くの人々が強制連行され、広大な農場（プランテーション）で過酷な労働を強いられる仕組みが作られた。</b>	大西洋貿易において、アフリカの人々は商品として強制的に南北アメリカへ連行されました。彼らは奴隷として扱われ、サトウキビや綿花などを栽培するプランテーション（大規模農場）において、基本的な人権を否定された状態で過酷な労働に従事させられました。セネガルのゴレ島は、こうした人々を送り出す拠点の一つであったため、人権侵害の象徴的な場所とされています。